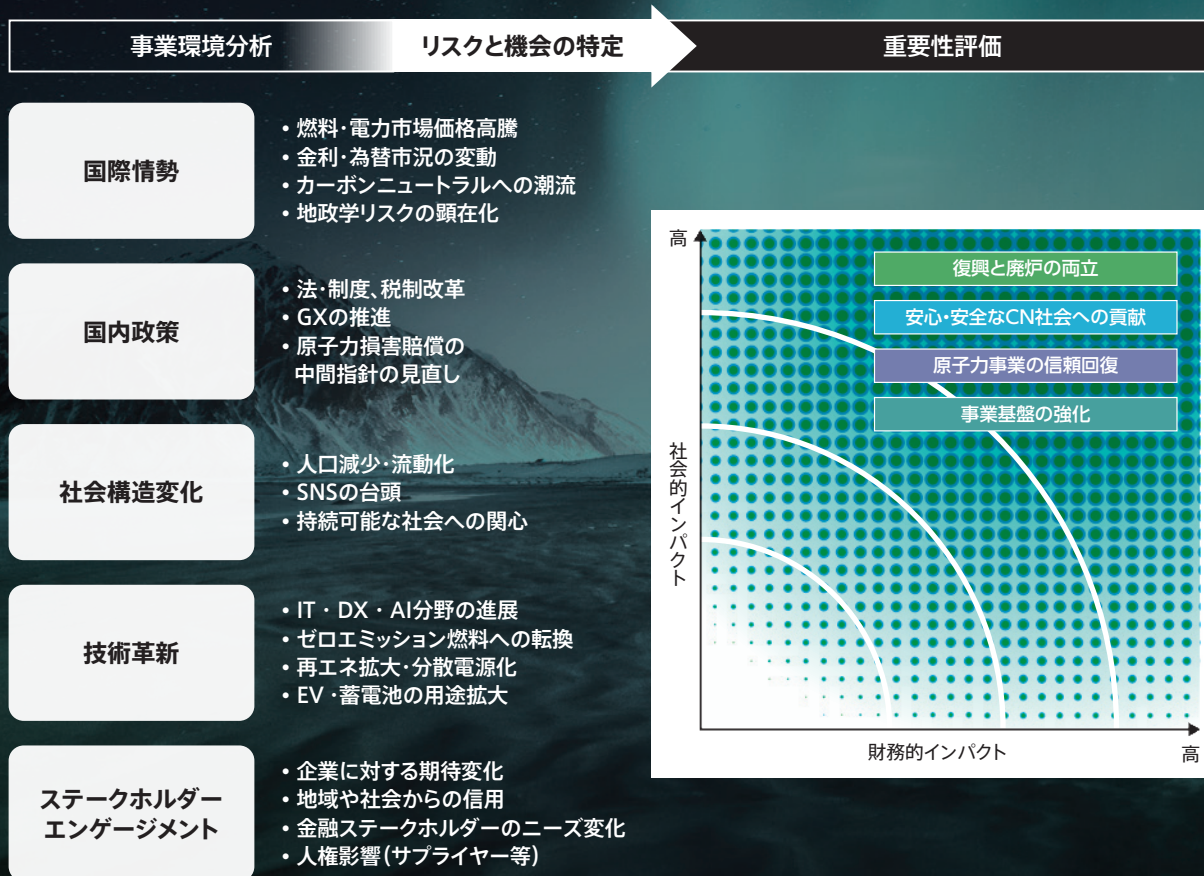


マテリアリティと経営戦略

TEPCOグループでは、国内外の情勢やステークホルダーからの期待等を踏まえた事業環境分析を毎年実施し、事業に関わる重要なリスクと機会を特定しています。特定されたリスク・機会は、社会的インパクト・財務的インパクトの2軸から重要性評価を行い、取締役会の管理項目として、監査・監督を行っています。

これらの重要な管理項目は、4つのカテゴリに「マテリアリティ」として整理・特定し、経営戦略と体系化した具体的なアクションプランにより、各マテリアリティの解決をめざします。

マテリアリティの特定プロセス



4つのマテリアリティ

安心・安全な カーボンニュートラル社会への貢献

持続可能な社会を実現するために、カーボンニュートラル・防災を軸とした事業展開により、新しい価値の創造に取り組みます。

事業基盤の強化

環境変化に対応した事業構造への変革と4,500億円規模の利益獲得に向けて、財務戦略を実行しながら、人的資本や知的資本を成長させます。

原子力事業の信頼回復

カーボンニュートラル社会と低廉で安定的な電気の供給の実現のため、核セキュリティと安全を追求し、地域や社会から信頼される原子力発電所をめざします。

復興と廃炉の両立

福島への責任の貫徹に向けて、信頼の回復を最優先に、復興に向けた活動、安全かつ着実な廃炉の両立をめざします。

マテリアリティ

4つのマテリアリティの解決に向けて戦略を立案し、その実現のための具体的な実施事項として、アクションプランを策定しています。

マテリアリティ	戦略	指標・アクション	目標年度	目標	実績(2022年度)
安心・安全な カーボンニュートラル社会 への貢献 ➡ P16	再生可能エネルギーの 主力電源化	再エネ発電事業における純利益	2030	1,000億円規模/年	370億円
		国内外における再エネ電源の新規開発		600～700万kW	303万kW(開発中含む)
	カーボンニュートラル 社会を見据えた 事業構造変革	販売電力由来のCO ₂ 排出量削減 (2013年度比)		50%削減	53%削減(詳細はP22)
		法人分野におけるCO ₂ ゼロメニュー販売量		100億kWh以上	63億kWh
		需要開拓電力量		97億kWh以上	4.7億kWh
		カーボンニュートラルとレジリエンス向上を 軸としたまちづくり		事業を通じた地域のカーボンニュートラル推進と レジリエンス強化 脱炭素先行地域をはじめとした案件の受注拡大	脱炭素先行地域への採択数7件 (民間事業者の共同提案者として最多)
		蓄電池ビジネスの成約売上	2031	蓄電池市場規模のシェア30%(成約売上)	38億円
		EV充電ネットワーク口数(急速充電器)	2025	15,000口	約7,900口
事業基盤の強化 ➡ P34	財務戦略	2030年度以降の連結純利益	2030以降	4,500億円規模	△1,236億円
		重要経営課題への人財リソース配置数	—	1,281人	1,379人
	人財戦略	事業創造人財の創出人数	2027	2,700人	908人
		DX推進人財の育成人数	2025	6,000人(全社員の2割以上)	約2,300人
		女性管理職比率	2025	10%	5.9%
		人権デュー・ディリジェンス実施率	2025	100%	28.8%
	技術開発	技術戦略に基づく重点領域の推進	2030	事業化に向けた技術開発	国内初のP2G事業会社「やまなしハイドロジェンカンパニー(YHC)」による事業推進
		DXの推進	2030	CX/UXやEX、協創を軸としたオペレーション変革 および社会的な課題解決につながる新たなサービスの提供	カーボンニュートラルや安定供給に資するプロジェクトの立ち上げ推進
原子力事業の信頼回復 ➡ P52	原子力発電所の 核セキュリティ と安全の追求	核物質防護に係る追加検査への 真摯な対応を含む核セキュリティの追求	—	改善措置活動と原子力規制委員会による 追加検査の対応を完遂	改善措置活動を実施し、追加検査に対応
		安全対策工事を着実に進め、 安全レベルを向上		工事未完了に係る総点検や安全対策工事	工事未完了案件に係る総点検が一巡
復興と廃炉の両立 ➡ P56	浜通り廃炉産業集積構築	浜通り地域に廃炉関連産業を集積	—	浜通りでの廃炉産業集積に伴う、 経済貢献/雇用創出/人材育成/賑わい創出の実現	廃炉関連機器製造合弁会社設立、 工場着工準備中(2023年度中)
				ALPS処理水海洋放出設備運用の 安全・品質の確保	ALPS 処理水希釈放出設備および 関連施設の準備工事・設置工事
	廃炉・汚染水・ 処理水対策	燃料デブリの取り出しや処理水処分における 取り組みの着実な実施		迅速なモニタリングや正確で分かりやすい 情報発信	Webサイトや冊子の多言語化、包括的海域 モニタリング閲覧システム(ORBS)の開設
				初号機(2号機)の燃料デブリ試験的取り出し 内部調査、段階的な取り出し規模の拡大	2号機原子炉格納容器内部調査準備 (モックアップ、隔離部屋設置)